



エチオピア

～ 売れ筋商品調査・基礎データ～

エチオピア連邦民主共和国

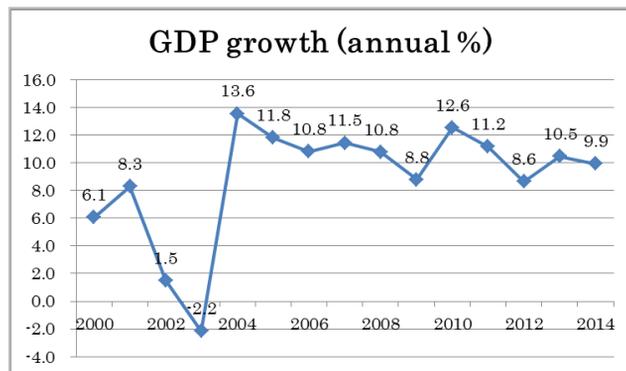
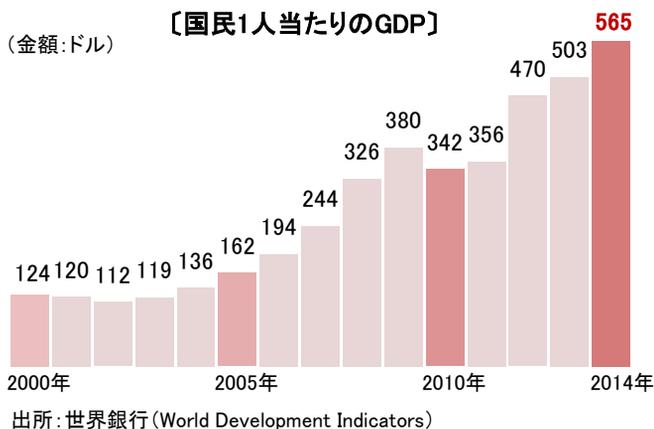
- 面積：109.7万平方キロメートル〔日本の約3倍〕
 - 首都：アディスアベバ
 - 人口：90,074,000人
〔うち都市人口：17,521,000人(約19%) 農村人口：72,553,000人(約81%)〕
- 出所：エチオピア中央統計局/ Central Statistical Agency 2015年7月時点



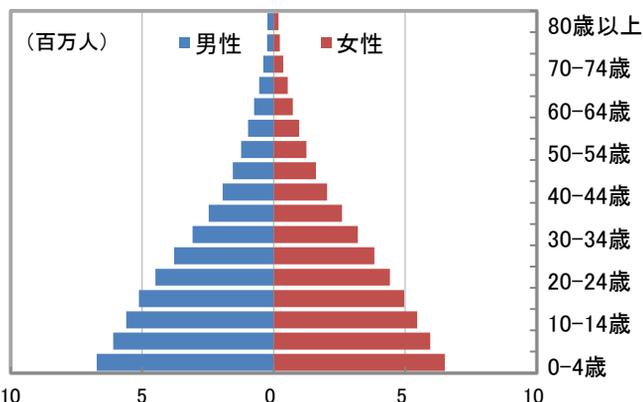
〔基礎的経済指標〕*1

- 実質GDP成長率：9.9%（2014年 世銀）
- 名目GDP：547億 9,800万ドル（2014年 世銀）
- 1人当たりのGDP(名目)：568ドル（2014年 世銀）
- 消費者物価上昇率：7.4%（2014年 世銀）
- 為替レート：1ドル≒ 19 エチオピア・ブル（2014年7月現在）

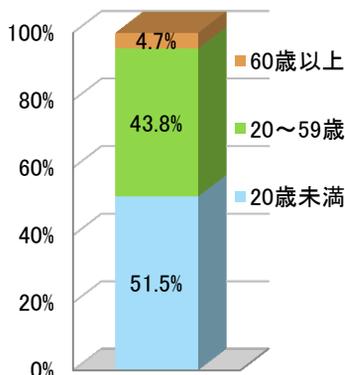
*1：JETROホームページ 国・地域別に見る「エチオピア基本情報：エチオピア概況(2015年8月更新)」



●人口構成図*2:



●年代別人口構成*2:



●人口増加率:

全国平均: 2.6%

うち
都市人口: 3.6%
農村人口: 1.8%

出所：国連World Statistics Pocketbook, 2014

*2: エチオピア中央統計局「Central Statistical Agency」

貧困人口

- 2010年時点において、1日の所得が2ドル以下（2005年の国際価格を基準としたPPP）の人口割合は、72.2%であった。

出所：世界銀行、世界開発指標（2015年）

<http://data.worldbank.org/indicator/SI.POV.2DAY/countries/ET?display=default>

- 2010年時点において、1日の所得が1.25ドル以下（2005年の国際価格を基準としたPPP）の人口割合は、36.8%であった。

出所：世界銀行、世界開発指標（2015年）

<http://data.worldbank.org/indicator/SI.POV.DDAY/countries/ET?display=default>

貧困人口（GINI係数）

下表をみるかぎり、エチオピアの所得格差は、日本と比べ特に上位や下位に偏りすぎているというわけではないようだ。また、エチオピア国内の所得格差は周辺国やその他のアフリカ諸国と比べても、さほど顕著ではないとも読める。しかし、実際に生活していると、特に都市部においては貧富の格差が日本とは比べ物にならないほど顕著であり、貧富の格差は確実に拡大傾向にあると感じられる。

	GINI index (世界銀行)		各所得階層の所得割合						
			上位10%	下位10%	上位20%	上位20～40%	上位40～60%	上位60～80%	下位20%
	調査年	GINI係数							
エチオピア	2010	33.6	27.5	3.2	41.9	12.4	16.3	21.6	8
日本	2008	32.1	24.8	2.7	39.7	12.9	17.3	22.7	7.4
ケニア	2005	47.7	38	2	53.2	8.7	13.2	20.1	4.8
ナイジェリア	2010	43	32.9	2.2	48.9	9.6	14.5	21.6	5.4
タンザニア	2012	37.8	31.1	3.2	45.7	11	15	20.8	7.4
ウガンダ	2012	44.6	35.8	2.5	51.1	9.3	13.6	20.3	5.8

出所：世界銀行世界開発指標（2015年） <http://wdi.worldbank.org/table/2.9#>

世帯のアイテム別支出額（食料品以外）

次項表に示すとおり、エチオピア世帯の6割以上が、過去1年以内に衣類・靴を購入したと回答している。過去1年間で衣類・靴に費やした額は、全国平均が1世帯あたり約68米ドル、人口1万人以上の都市では1世帯あたり年間78ドルとなっている。税・課金についても、農村部では1世帯あたり年間約8米ドルと少額であるが、大都市では1世帯あたり年間約82米ドルを費やしており、衣類・靴以上の出費となっている。

冠婚葬祭も重要な消費項目といえる。農村部では1世帯あたり年間約35ドル、人口1万人以上の都市では1世帯あたり年間約56米ドルを冠婚葬祭に費やしている。

世帯のアイテム別支出額（食料品以外）表

食料品以外の品目への支出								
エチオピア：世帯の過去1年の平均支出（居住地、品目別）								
	全国		農村部		比較的小規模な都市部 （人口1万人未満）		比較的大規模な都市部 （人口1万人以上）	
	過去1年に 当品目を 購入したと 回答した 世帯の割合	平均支出 （ブル）	過去1年に 当品目を 購入したと 回答した 世帯の割合	平均支出 （ブル）	過去1年に 当品目を 購入したと 回答した 世帯の割合	平均支出 （ブル）	過去1年に 当品目を 購入したと 回答した 世帯の割合	平均支出 （ブル）
衣類								
女性用の衣服、 靴、布類	68.4 %	500	70.8 %	469	57.0 %	476	58.0 %	652
男性用の衣服、 靴、布類	76.5 %	402	79.2 %	377	70.5 %	428	64.2 %	522
男児用の衣服、 靴、布類	61.5 %	247	67.5 %	259	49.8 %	219	33.8 %	190
女児用の衣服、 靴、布類	58.8 %	204	63.9 %	211	52.7 %	226	35.1 %	165
寝具類	39.1 %	103	41.0 %	107	39.7 %	117	29.7 %	83
税金・寄付金								
税・課金	79.0 %	425	84.6 %	167	63.1 %	802	53.3 %	1636
冠婚葬祭	76.6 %	772	77.2 %	698	80.6 %	1041	73.6 %	1114
教会・モスクへの 献金	61.4 %	101	65.2 %	101	72.2 %	183	43.0 %	98
Iddir（葬式・不慮の 事故・災害のため の互助組織）会員 費	60.7 %	76	64.2 %	70	60.5 %	98	44.0 %	103
器具・家具								
台所用品	37.3 %	52	38.8 %	46	31.1 %	62	30.4 %	80
家具	31.4 %	68	32.0 %	54	23.7 %	68	29.0 %	134
電灯	42.5 %	18	49.3 %	21	30.7 %	14	10.9 %	6
注：平均の算出には購入しなかったと回答した世帯も含まれているが、異常値は除外してある。								

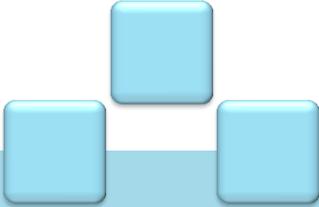
出所：世界銀行Ethiopia Socioeconomic Survey (ESS) – 2013/14, “Survey Report (WORKSHOP VERSION), Central Statistical Agency and Living Standards Measurement Study (LSMS), 2015 (<http://microdata.worldbank.org/index.php/catalog/2247>) p.64の表を和訳。

統計データ ③

小売店における近代的店舗（ハイパーマーケット、スーパーマーケットなど）と 伝統的店舗（零細小規模店舗、青空市場内の店舗など）の割合（%）

SAGACI社による消費動向調査（2013年、サンプル数500世帯以上）によると、首都アディスアベバに居住する世帯の約24%が、月500ドル以上の収入があるという。さらに、月1,000ドル以上の収入がある世帯は、約10%に上るといふ。これはスーパーマーケットを含む近代的小売業には魅力的な数値である。

一方で、同調査によると、2013年時点において、アディスアベバには8社が15店舗のスーパーマーケットを展開するにとどまっており、同年アディスアベバで購入される食料品のわずか0.5%がスーパーマーケットのような近代的店舗からとされている。依然、伝統的店舗の割合が99.5%と圧倒的に大きい。同調査報告書によると、2018年までには近代的店舗が占める割合は1.5%まで増加すると推測されている。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。